



安原地区地域づくりセンター 発足・始動!



安原地区公民館内に『地域づくりセンター』が開設されました。これまでの準備段階を経て、三澤孝吉さんが初代センター長として、文字通り地域づくり支援の中心的役割を担います。地域づくりセンターはどのようなシステムで何が使命か、三澤センター長にお話を聞きました。

・地域づくりセンターの役割
この地域の問題点・課題、困っていること、心配事を聞き出すことです。引き出した課題は、地域の皆さんと一緒に考える。地域・町会の方々だけでは対応困難な案件に際しては、大学・企業・専門団体の協力要請もする。まずは課題を知ることが最初の一步。地域の課題が解決できる仕組みづくりが役割、と説明頂きました。

・安原地区にある課題
二つの小学校、国立大学も大規模な大学病院もあります。



始動した地域づくりセンター

アカデミックな知恵の地域活用が求められます。当地区にも空き家が目立つ等、気がかきりな要素も増加しています。日々の生活には安心と安全が基本です。将来の不安払拭は大きな課題の一つです。一枚のデータを見せて貰いました。安原地区の人口構成ピラミッドは一見理想的な形状若者・子供の比率も高く、将来の担い手も多いように見えます。しかしながら流動性世帯(引越しが想定される世帯人口)を除くと、やはり高齢者層中心の地域になります。要援護者の見守り、買い物弱者の援助・災害時避難等その担い手の不足を補えるように助け合えるシステムを作っていく必要があります。お互いさまに気配りができる地域づくりにはより多くの住人の参加が不可欠です。

・主役は市民
いままでの具体例に、安原地区まちづくり協議会が『お買い物マップ』『地域の商店・スーパ等』の店舗マップに加え、出張・移動に通信・ネット

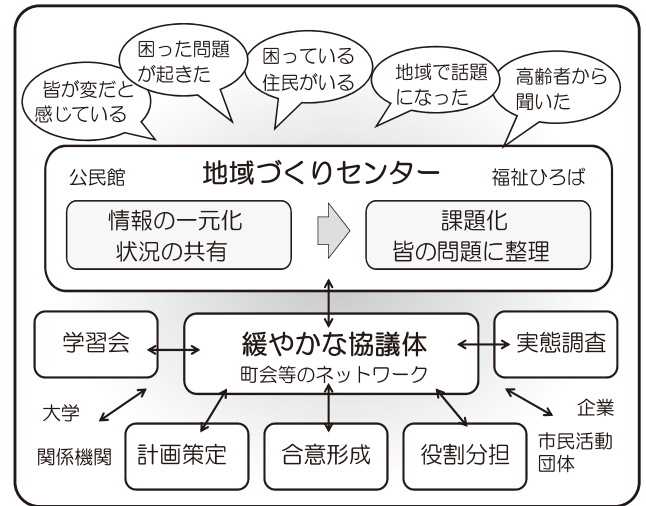
販売店を網羅した冊子を制作し全戸に配りました。
主役である市民の声を聴きいれてくれる体制は整いました。意見、知恵の提供と参加を地域づくりセンターは待っています。



退任にあたり
金岩 博司

六年間の任期満了により退任致しました。公民館長は先ずは楽しく行うこととの励ましをいただき、大勢の先輩方、地域の方に支えていただきながら任期をまっとうすることができました。

地域づくりセンターの役割



「安原地区の歴史探訪」を基にした橋倉家での寺子屋風授業、ドクターヘリや信大キャンパス見学会など安原地区ならではの講座も良い思い出です。長い間ありがとうございました。

就任にあたり
滝澤 澄夫



安原地区公民館長を拝命いたします。

たしました滝澤澄夫です。公民館活動にはほとんど縁のない私が館長をお受けするのは、かなりの戸惑いがありました。この地区に何らかの形で少しでも貢献できたらの思いでお引き受けいたしました。公民館を熟知された金岩館長の後任としては荷が重い私ですが、ベテランの三澤地域づくりセンター長をはじめ樋口主宰や経験豊富なスタッフに囲まれておりますので、安心して勉強し、「安心、安全、健康」のまちづくりに貢献したいと思っております。

旭町小学校 大規模改修工事が完了



平成二十四、二十五年度の二年間かけて行われた旭町小学校の大規模改修工事がこのほど完了しました。この工事は松本市内の市立小中学校を十年に一回改修していくもので、手順等の打合せを含めると三年がかりでした。

今年度の工事では外壁に厚さ七センチの断熱材を加えた後の吹きつけと、校内全ての床と一部天井の貼り替えが行われました。二十四年度は南棟の三・四階と一・二階の床を交互に、二十五年度は北側の低学年棟と管理棟の床と天井の工事でした。二十五年度は校庭にプレハブの仮設校舎が建てられていたのを目にした方も多いでしょう。工事に伴う教室の引越しは一部を除いて PTA の皆さんが協力して下さいました。特に工事後プレハブから管理棟へ戻す日は二月の大雪の中、PTA 会長さ

んが雪かきを手配したうえで行われたそうです。また、図書室の壁塗りも PTA の皆さんが行い、学校との協力体制がよくできていますね。

工事期間中は、九月に開催されていた運動会が五月に変更されました。特に二十五年度は校庭の北半分しか使えないため、種目は同じながら、平日に小規模に行わざるを得ませんでした。その分秋の音楽会を休日に行うなどして多くの方に参観いただきました。五月の運動会は季節も良く今後も続けてゆく予定とのこと

です。外壁は明るい茶色に化粧し

てきれいになりました。これとは別に校庭西側の石垣が危険だということで、フェンスと生垣に整備され、ヒマラヤ杉四本も桜に植え替えられてすつきりと見通しよくなっています。

「工事期間中はとにかく安全第一。怪我、事故などなく無事終了してよかった。子ども達は狭い校庭でも元気に遊んでいたが、今は広くなり安心して遊べる」と校長、教頭両先生がにこやかに話して下さいました。



26 年度安原地区版
公民館報編集委員

委員長 金岩 博司 (中原町)
副委員長 大和 靖 (新町)

委員 鳥羽 啓路 (東ノ丁)
中村 道子 (東ノ丁)
小松 清人 (中原町)
辻 眞美子 (萩町)
熊谷 柳子 (元原町) ※

お詫び
3月30日号にて掲載しましたステップ21の開催時刻に誤記がありました。開催時刻は毎週火曜日午前中となります。

仮設校舎



整地された校庭



護国神社の西側に更生保護施設みすず寮があります。このたび全面改築され、鉄筋コンクリート造りのしっかりと建物に生まれ変わりました。以前は木造で建物も古く耐震性も心配でした。洗濯干し場は目隠しされ、喫煙場所も一室設けた時世を取り入れた造りです。

みすず寮は、更生保護法人松本保護会が運営する更生保

護施設です。保護観察対象者、刑執行終了者等のうち、頼るべき親族がないなどの理由で、直ちに自立更生することが困難な人へ宿泊場所や食事を提供しながら、就職支援、社会生活に必要な生活指導等を行い、社会復帰を促進する民間の施設であり、国の委託を受けて運営されています。入寮者への処遇には施設長、補導主任、補導員二人、調理員、宿日直員があたり「施設全体が「家族」を理念とし、毎日の献立に配慮し、夕食時の団欒、娯楽時間等に温かい雰囲気

を作るよう努力しています。地元町会はお正月に餅つき会に招待され、子どもたちと役員が一緒に餅つきをし、その後皆で食べるこの餅がうまいと好評です。松本地区保護司会わたげ部、近隣の各地区更生保護女性会の方々により、夕食会、焼肉会、クリスマス会、バレンタインデー等の催しを織り込み、家庭的な潤いが提供されています。人の心は拠りどころがないと折れてしまうでしょう。皆で温かい家庭、社会を創っていきたいものです。



改築したみすず寮